

済生会は医療連携を通して、地域の診療所と共に皆様の健康をリレーします。

Baton

地域医療連携室だより

春号
vol.68

平成26年4月1日発行



TOPICS

- P2 【特集】
平成26年度診療報酬改定と
医療制度の動向について
- P4 登録医紹介(寺尾整形外科クリニック・寒河江眼科クリニック)
- P6 職場探訪(ビルサービス(清掃部門)・駐車場)
- P7 第8回医療連携総会 開催報告
「医療連携協力機関マップ」を改訂しました
- P8 インフォメーション

地域医療支援病院 臨床研修病院 地域がん診療連携拠点病院



済生会新潟第二病院・地域医療連携室

新潟市西区寺地280-7 TEL 025-233-6182 FAX 025-231-5763

<http://www.ngt.saiseikai.or.jp>

平成26年度診療報酬改定と医療制度の動向について



1 改定の基本方針

この4月、2年に一度の診療報酬改定が行われました。今回の診療報酬改定での重点課題は「医療機関の機能分化と強化と連携、在宅医療の充実」が全面に掲げられました。先の社会保障・税一体改革で示され、2025年問題と言われる高齢化社会を見据え、地域包括ケアシステム※1の概念のもと、入院・外来共に医療機関の役割分担の推進が今まで以上に大きく謳われました。以下、医療連携に焦点を絞りポイントをお示しします。

2 医療連携に関する改定の重点ポイント

(いずれも厚生労働省「平成26年度診療報酬改定の概要」より抜粋)

1) 入院医療：病床の機能分化の促進

- ① 入院基本料7対1の要件が厳しくなります
「重症度、医療・看護必要度」、「在宅復帰率」、「平均在院日数」等
- ② 地域包括ケア病棟が新設されます
急性期医療からの受け皿と在宅医療での緊急患者の受入、また在宅復帰支援に大きな役割を期待されます
- ③ 有床診療所が評価
地域包括ケアにおける有床診療所の役割が評価されます 等

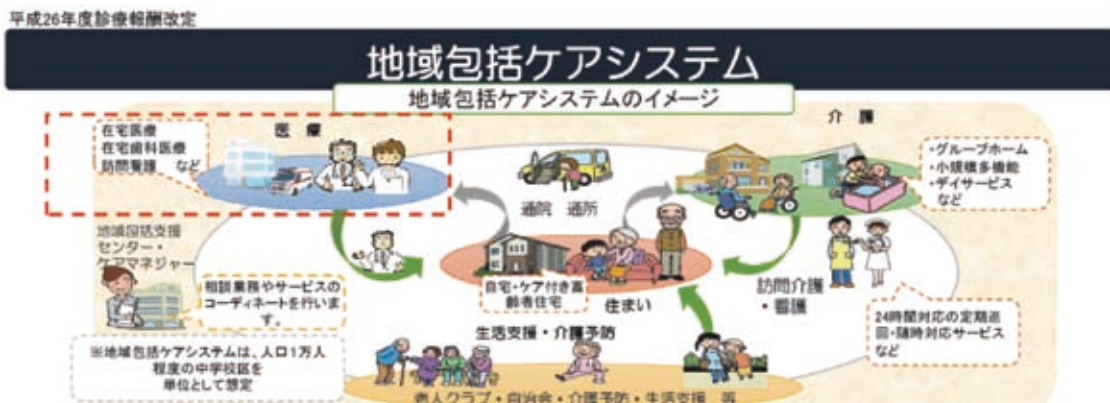


2) 外来医療

病院がかかりつけ医を紹介することや、継続的な服薬や健康管理などをかかりつけ医（主治医）が行うことが評価されます 等

3) 在宅医療

- ① 在宅医療を行う上で緊急時に対応する後方病床の病院が評価されます
- ② 24時間対応、看取り・重度化への対応等が可能な訪問看護ステーションが評価されます
- ③ 在宅かかりつけ歯科診療所が評価されます
- ④ 在宅業務に対応している薬局が評価されます 等



3 まとめ

地域包括ケアシステムは、「これだ！」という答えはなく、それぞれの地域が地域の実情に即した体制の整備を、行政、関係機関が一同に介し整えていく必要があります。各職種や団体だけでなく横断的な取り組みが地域単位ですます活発に行われます。その中、医療機関においては、今秋から開始される病床機能報告制度※2、また平成27年度には地域医療ビジョン※3など、地域の中にあって自院がどういった位置づけになるかを明確にしていくことが重要となります。今後とも地域の皆様、関係機関の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

(医事課長・地域医療連携室長 斎川 克之)

※用語解説

1、地域包括ケアシステム

高齢者の尊厳の保持と自立生活の支援の目的のもとで、可能な限り住み慣れた地域で生活を継続することができるような包括的な支援・サービス提供体制。

2、病床機能報告制度

医療機関が担っている医療機能(高度急性期機能、急性期機能、回復期機能、慢性期機能)を明確にし、都道府県に報告する制度。

3、地域医療ビジョン

地域の医療需要の将来推計や病床機能報告制度により医療機関から報告された情報等を活用し、二次医療圏ごとに、各医療機能の必要量(2025年時点)等を含む地域の医療提供体制の将来の目指すべき姿を示すこと。

(参考：地域包括ケア研究会報告書、全国厚生労働関係部局長会議資料)

トピック

薬薬連携の取り組みー地域包括ケアを見据えた薬剤師連携の取り組みー

平成26年2月21日(金)当院10階大会議室で、第1回薬薬連携研修会を開催いたしました。開催にあたり当院の吉田病院長の挨拶の中、「地域のチーム医療推進にも、薬剤師の存在は大きい」との言葉がありました。まず、当院外科部長・緩和ケア委員会委員長の坪野俊広から「がん患者さんとのコミュニケーション」と題して講演がありました。がん患者さんがもつ全人的苦痛(トータルペイン)とはどんなものか、そして医療者はこれに対してどのようなマネジメントができるのか、除痛で用いられるオピオイドとはどのような使い方、考え方が適切なのかなど、薬剤師が明日から患者さんとの接し方ですぐにでも見えそうな説明に、参加した保険薬局薬剤師は真剣に聞き入っていました。続いて、当院薬剤部の小竹泰子から「がん告知状況の処方箋印字と当院のオピオイド説明用パンフレットについて」の説明がありました。院外薬局に向けて、今後の「がん告知」の情報開示の方法、当院でのオピオイド使用患者に対する服薬説明の方法、使用パンフレット等の情報提供を行いました。院外薬局薬剤師42名、当院薬剤師19名の参加があり盛会で研修会を終えました。参加者のアンケートからは「開催を楽しみにしていた」「素晴らしい会だった」との感想、「検査データなどのさらなる患者情報開示」を期待する声も聞かれ、連携強化を前向きに考えさせられた会となりました。

チーム医療が重要視されるなか、地域医療での患者中心の医療提供を目指し、薬剤師間の「顔の見える化」を推進すべく今後も継続的開催を考えています。

(薬剤部 安藤 嘉範)



外科部長・緩和ケア委員会委員長 坪野 俊広



薬剤部 小竹 泰子

オープンシステム



寺尾整形外科クリニック

整形外科・リハビリテーション科・リウマチ科・内科

すずき よしたか
鈴木 義隆 先生



リハビリ室



専門領域

整形外科一般・リハビリテーション

医師・医院PR

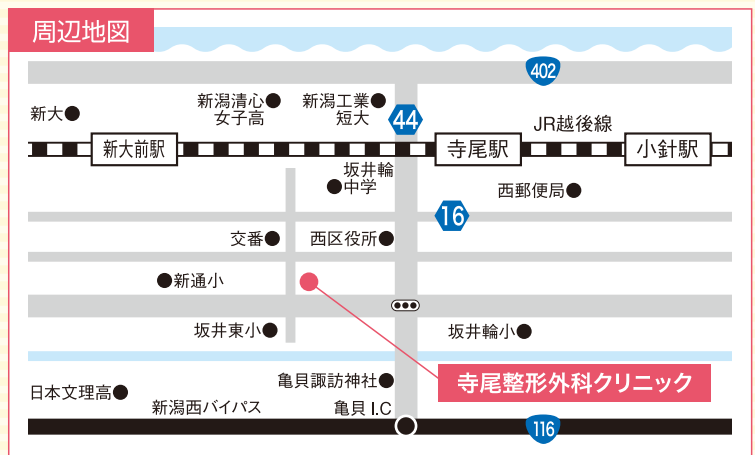
皆様には大変いつもお世話になっております。
 西区寺尾東で開業しています、鈴木義隆と申します。
 今回、平成26年2月17日よりクリニックが新しくなりました。リハビリ室の拡大、MRI導入、外来手術室を新設いたしましたので、今後とも宜しくお願いいたします。



寺尾整形外科クリニック
 整形外科・リハビリテーション科・リウマチ科・内科
 〒950-2054
 新潟市西区寺尾東3-9-10
 ☎025-260-7272

診療時間	月	火	水	木	金	土
9:00~12:30	○	○	○ 12:00まで	○	○	○ 13:00まで
15:00~18:00	○	○	×	○	○	×

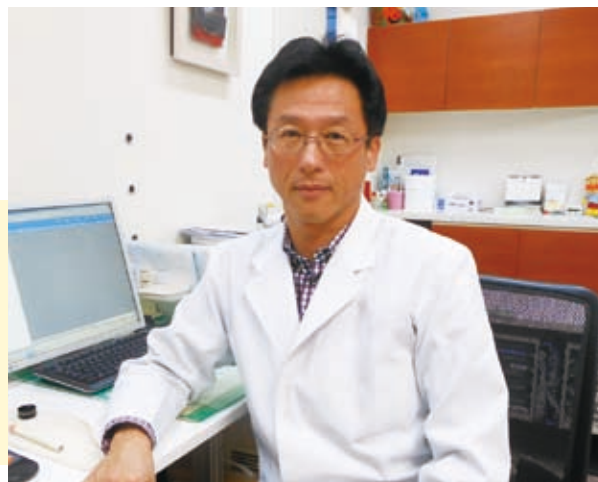
◎休診日／水・土曜午後、日曜祝祭日



登録医訪問

寒河江眼科クリニック 眼科

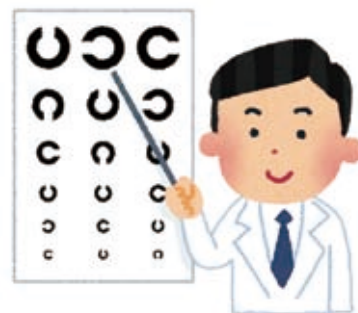
さがえ ゆたか
寒河江 豊 先生



医師・医院PR

新潟市民病院で16年間勤務後H16年に開業し、今年で丁度10年になりました。診療は眼科全般に及びますが、特に白内障日帰り手術、眼底出血、緑内障などのレーザー治療に力を注いできました。また新潟では少ない斜視、弱視専門の小児眼科外来を併設し、小児の目の健康にも重点をおいて取り組んできました。

当院の待合室は明るい吹き抜けで、中央の楠木を囲むように椅子を配置し、患者様に安らぎを感じて頂けるように配慮しています。これからも地域医療に貢献してまいりますので宜しくお願い致します。



寒河江眼科クリニック

眼科

〒950-0923

新潟市中央区姥ヶ山5-4-13

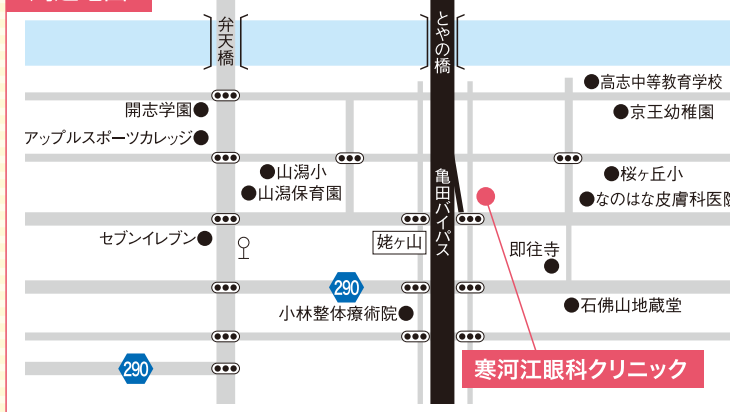
☎025-287-6363



診療時間	月	火	水	木	金	土
9:00~12:30	○	○	○	×	○	○*
15:00~18:00 (土曜日は14:00~16:00)	○	○	○	×	○*	○

◎休診日/木曜 日曜祝祭日
※小児眼科外来(中村桂三医師)

周辺地図





当院の部署を

職場探訪

紹介します！



職場探訪は、院内報MINDに毎月掲載しているコーナーです。地域のみなさんにも紹介させていただきます。

ビルサービス(清掃部門)

私たちは平成3年の開院当初より院内の清掃を担当させていただいております。現在、男性5名、女性19名で作業を行っています。女性が多く、男性陣は女性のパワーに圧倒される毎日です。

業務内容は、毎日行う日常清掃、定期的にメンテナンスを行う特別清掃、病院内の廃棄物運搬処理業務です。日常清掃は病棟(病室・処置室・トイレ等)、外来(診察室・検査室等)、管理部内(事務室・会議室等)、そして共用部(食堂・特別浴室・廊下・ホール等)の病院内全般の清掃作業を担っています。特別清掃は、

- ①床面の汚れを落とし、床面維持材(ワックス)を塗布する作業
- ②自動床洗浄機でスピーディーに洗浄と吸水を同時に行う作業

等があります。廃棄物処理業務は病院内から廃棄される医療感染物、一般廃棄物、産業廃棄物等の収集運搬業務を担っています。

私たちの病院清掃は医療現場において清潔で衛生的な環境を作り出すことで、チーム医療の一端を担う大切な業



務であると考えています。院内を清潔区域、一般区域、汚染防止区域に区分し、使用する用具をカラーリング及びマーキングで識別管理し、他の区域との混同を避け、区域ごとに定められた方法で作業管理を行っています。また、作業員の実技研修、教育研修を定期的に行い、レベルアップを心がけています。

最後に、病室は患者さんが入院をされてから健康を取り戻して退院されるまでの大切な空間です。少しでも快適に過ごしていただけるようにと心がけて毎日の作業を行っています。至らない点があるとは思いますが、スタッフ一同頑張りますので今後とも宜しくお願いいたします。

(ビルサービス 青山)

駐車場

皆さん、病院駐車場業務と言えばどのような業務を思い浮かべられますか。済生会病院駐車場男性の主な業務は「車の誘導」「付添者へのパスカード販売」「駐車場管理機器メンテナンス」。女性の業務は「患者様への駐車券の割引業務」などです。

職安の求人募集などには私共の職種は「駐車場管理」などと表記されていますが、「管理業」でしょうか。私は「サービス業」だと思っております。病院を訪れる患者様、付添者様、御見舞者様、それぞれ一人ひとり色々な思いを抱えて病院に来院されています。私共はお車をスムーズに駐車してもらい、少しでも早く診療や付添又はお見舞いに行かれるような「誘導」、又は出庫の際手元が不自由な方には事前に駐車料金を預かり、駐車券だけで出庫出来るようなサービスなどの提供を心がけています。

昨今、駐車場ご利用様の年代を見ますとご高齢者が多々見受けられ、駐車されるにも中々大変な人も見受けられます。その様な方には少しでも駐車しやすい場所を、お体の不自由な方には少しでも入口に近い駐車場所を御案内し、ご利用様の利便性を図っております。



真夏の炎天下 雨の日 吹雪の日など誘導の辛い日もありますが、時折ご利用様に「ありがとう」「ご苦労様」「あっちゃん大変だねー」などという言葉をかけて頂きますと、この仕事について良かったと思い、辛い気持ちも吹っ飛んでしまいます。

今年の冬は小雪で除雪作業も思いのほか少なく助かりました。これから暖かい季節に向かいます。季節の変わり目、日々体調管理に気配りしながら、患者様 お客様のために頑張っていきたいと思っております。

(済生会新潟第二病院駐車場 所長 浮田直己)

第8回 医療連携総会開催報告

3月15日（土）、地域の連携医療機関をはじめ福祉施設、行政と院内職員約100名の参加のもと、新潟グランドホテルにて第8回医療連携総会を開催いたしました。

第1部の特別講演の講師は、新潟大学大学院医歯学総合研究科 総合地域医療学講座特任教授である井口清太郎先生。「地域連携の現状と次世代の医療人」と題し、超高齢社会が到来する2025年頃に備えて医学部では、従来の「医療」のみでなく患者の「生活」にも着目し、高齢者に総合的に対応できる診療能力を持った医師を育成するための教育を行っている、1時間に渡りご講演頂きました。

第2部では、吉田院長より「2014年度病院アクションプランと医療連携について」、その後地域医療連携室主任齋藤より「医療連携の実績報告」と題し、病院と地域医療連携室の今年度の計画・目標について報告いたしました。参加者からは様々な質問や意見が交わされ、地域に根差した病院として改めて連携の重要性を認識できた会となりました。

(地域医療連携室主任 齋藤 浩生)



井口 清太郎 特任教授



「医療連携協力機関マップ」を改訂しました



この冊子は済生会新潟第二病院オープンシステム登録医を掲載しており、かかりつけ医をもっていただく際の情報としてご活用いただいております。今回の改訂では、冊子のデザインを一新し大きさもサイズアップしてあります。院内(正面玄関脇ブックスタンド、各科外来、各病棟)に設置してありますので、ご自由にお取り下さい。



診療標榜科目を内科系／外科系／小児科系／その他に色分けし、医院名は区ごとに五十音順で掲載してあります。



「医院名検索帳」では、医院名称から所在地検索が可能です。



新規登録医紹介

医 院 名	診療標榜科目	住 所	登録医名
もとやま内科クリニック	内科 消化器内科	新潟市東区海老ヶ瀬3012	本山 展隆

※H26年3月25日現在、登録医総数は404人です。

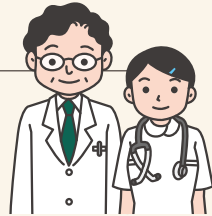
臨床検討会開催のお知らせ

第188回臨床検討会

日時 平成26年4月22日(火) 19:00～

会場 済生会新潟第二病院10F会議室

担当 救急科担当



第189回臨床検討会・特別例会

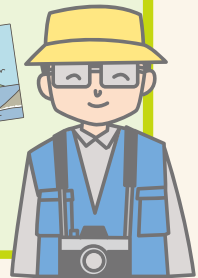
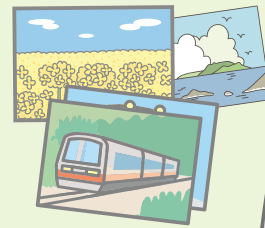
日時 平成26年5月27日(火) 19:00～

会場 済生会新潟第二病院10F会議室

担当 新潟大学大学院医歯学総合研究科
循環器内科教授
南野 徹 先生

連携医療機関のみなさま、表紙を飾ってみませんか？

表紙を飾っていただける写真を募集しています。
四季折々のご自慢の写真はありませんか？
お問い合わせは、地域医療連携室までお願いいたします。



編集後記

桜の開花が待ち遠しい季節になりました。お花見の始まりは江戸時代。庶民の日頃の不満を解消させるため、徳川吉宗が江戸の各地に桜を植えさせ奨励したのが始まりと言われています。桜の花粉には興奮を誘発する「エフェドリン」という物質が含まれ、桜の甘い香りには不安感を取り除いて自信を回復する効果があるそうです。新年度を迎えました。何かと慌ただしい時期ですが、桜の効能を感じながら心機一転頑張ろうと思います。

(大澤 希美代)

